

共に生きる

東日本大震災現地支援ニュース No.1

2011年11月16日 大会執事活動委員会

これまでは東日本大震災関連のニュースを緊急対策本部発行の「緊急対策ニュース」として皆様にお伝えしてまいりましたが、これからは「共に生きる－東日本大震災現地支援ニュース－」として、大会執事活動委員会がお届けいたします。この紙面を通して全国の改革派教会の皆様へ、この度の大震災の被害に遭われた方々の現状や現地の教会の声、祈りの課題、支援活動の呼び掛けなどの情報をお届けすることによって、私たちがキリストのからだ、神の家族として、これからもずっと祈り合いつつ共に歩み、共に生きてゆくために、少しでもお役に立つことができればと願っています。今後は基本的に毎月月末の水曜日に発行する予定です。どうぞよろしくお願い致します。

* 東日本大震災支援報告（略報）

皆様から寄せられました「東日本大震災支援募金（第1期）」と大会執事活動委員会事業会計の「緊急災害援助金」を用いて、被災地の教会、信徒、および社会の方々に対して以下のような支援を行うことができました。感謝してご報告いたします。

- * 1000円以下四捨五入で表記しています。詳細な報告は2011年6月の臨時大会報告、および10月の定期大会報告をご覧ください。
- * 仙台教会、北中山伝道所、石巻伝道所の会堂補修はまだまだこれから本格的に進められるという段階にあり、第2期募金からも支援の必要があります。引き続きお覚えいただければ感謝です。

収入の部

緊急災害援助金会計より	12,200,000
東日本大震災支援募金(第1期:2011年3月20日~6月7日まで)	52,290,000
合計	64,490,000

支出の部

教会堂補修支援(仙台・北中山・石巻)	21,870,000	34%
東北中会・教会・教師への支援	7,530,000	12%
信徒の住宅補修支援等 38件	14,840,000	23%
社会・超教派支援 *1	17,350,000	27%
震災対策活動費	2,200,000	3%
第2期募金へ繰り入れ	700,000	1%
合計	64,490,000	

* 1) 東仙台教会ボランティアセンター、仙台キリスト教連合被災者ネット、淀川キリスト教病院、NPO 法人みやぎ発達障害サポートネット、社会福祉法人仙台キリスト教育児院、社会福祉法人いわき福音協会、日本ファミリーホーム協議会、日本キリスト教会、日本福音キリスト教会連合（大洗キリスト教会、那珂湊キリストの教会）、聖約浦安教会、3.11 いわて教会ネットワーク、宮古コミュニティーチャーチ、他

* 東仙台教会のボランティア活動報告、祈りの課題、クリスマスプレゼントのお願い

東仙台教会では東松島市の東名、野蒜地区を中心にボランティア活動を継続してくださっています。ピーク時には100~150名のボランティアの方々を迎えて作業をしていらっしゃいましたが、寒くなりつつある現在も10~15名のボランティアの方々と共に、毎日（火曜日~土曜日）建物の解体・泥出しを中心とした作業を継続してくださっています。東名、野蒜地区もようやく復興計画が定まりつつあり、東仙台教会が活動してきた地区の大部分がこれからも居住可能であることがほぼ明らかになりました。ますます地域の必要は大きくなって行くと思われまます。どうぞ引き続き、東仙台教会のボランティア活動のためにお祈りください。

- ・ 東名地区に2年間無料でお借りできる建物が与えられ、その建物を中心に12月から地域の子供たちへの教育支援プログラムを開始していきたい、とのことです。放課後の子供たちを集めて一緒に宿題をしたり、遊んだりする中で、傷ついた子供たちへの心のケアもなされてゆきます。この働きの準備と祝福のために、どうぞお祈りください。
- ・ 11月23日(水)に地域の方々をお招きして、「鍋パーティー」を計画していらっしゃいます。家屋の泥出しなどのワークが入っている間は、その家の方々と良い交わりを持つことが出来るそうですが、ワークが終了しますと交流をもつ機会が減ってしまうのだそうです。そこで、月に一度食事会を計画し、出会うことが出来た方々との交わりを継続しておられます。11月23日の鍋パーティーの交わりの祝福のためにお祈りください。
- ・ 12月24日(土)に野蒜小学校のグラウンドに建てられました仮設集会所で、地域の方々とのクリスマス会を計画していらっしゃいます。100人以上の方々が来られるとのことです。そのクリスマス会で初めて地域の方々に向けて聖書のメッセージが語られます。祝福のためにお祈りください。また、クリスマス会に来てくださった方々に渡すプレゼントを送っていただけると大変助かります、とのことでした。ご協力いただけます方は、1000円以内のプレゼント（大きなものや中古品はご遠慮下さい）に簡単なメッセージを書いたクリスマスカードを添えた上、ラッピングをして、東仙台教会まで直接お送り下さい。締切は12月20日(火)です。

〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台1-3-10 東仙台教会まで。

- ・ 12月28日(水)~29日(木)にかけて、宮城蔵王、遠刈田温泉のペンションで1泊2日の子供キャンプを計画しておられます。遊び場も少ない現地の子供たちに取りまして、今回で3回目を迎えますこの子供キャンプは、大きな喜びとなっています。キャンプが祝福されるようにお祈りください。



* 仮設住宅の皆様到手編みの靴下を贈りましょう！

中部中会の名古屋岩の上传道所では、亘理町と山元町の仮設住宅を中心に、独自の支援活動を継続してくださっています。その中で、特に今回は手編みの靴下を贈る奉仕についてご紹介いたします。「泥かきなどの力仕事は出来ないけれど、直接現地に行くのもむづかしいけれど、被災地の方々のために私も何か奉仕をしたい。」と願っておられる皆様、クリスマスに向けて手編みの靴下を編んでみませんか？これから本格的に寒さが厳しくなる中、きっと現地の方々に喜ばれる素晴らしいプレゼントになると思います。名古屋岩の上传道所ディアコニア支援室の岡本真理姉から、このお働きについてご紹介いただきます。

宮城県亘理・山元町地区の仮設住宅の方々へ 手編みの靴下を贈るディアコニアについてご協力をお願い

名古屋岩の上传道所は、3月19日、伝道所内に東日本大震災ディアコニア支援室を組織して以来、被災者支援を継続して来ました。また、亘理・山元町の仮設住宅には、5月、8月そして9月と赴き、炊き出し、支援物資の配布、リクエストをいただいた物資のお届け、聖書配布と玄関先でお祈りを捧げさせて頂く等のディアコニアを担ってまいりました。現在、数人の方々とは、お便りの交換をさせていただくことも許されています。

仮設住宅は暑さ・寒さに弱い造りだと聞いています。暖房器具も不十分な中、生活される方々には厳しい季節が訪れます。そこで、9月の現地活動の折、支援の気持ちを手編みの靴下という形で届けたいと願い、当伝道所の姉妹と、関係する方々が編んでくださった靴下を40足ほど、作った方のカードを添えてお渡し、喜んでいただくことができました。

現在、この活動を中部中会の教会・伝道所にも呼びかけ、ご協力いただける姉妹方に編んでいただいているところです。今回は、12月末に、前回同様、二つの地区の200世帯を訪問させていただき、お渡しすることになっています。当初は11月末に締め切るつもりでしたが、12月末の出発までに送っていただければ合わせてお渡ししたいと思います。もしご協力いただける場合、下記までお問い合わせくだされば、詳細をご連絡させていただきます。

一昨日、ひとりのご婦人から、このようなお便りをいただきました。

「3月11日の震災で心が折れて希望をなくしていたときに、多くの方々の支援、応援に前を見て生きる元気をいただき、心より感謝申し上げます。先日、林様が私のリクエストの品物持ってきて下さいました。冬の準備ができて、使っています。いち個人のリクエストに準備して届けてくださったことにほんとうに感謝申し上げます。助かった命 大切に もう一度生きてみようと思えるようになったのも 皆様方のおかげです。いつも感謝の気持ち 忘れずに前向きに生きていこうと思っています。皆様方ほんとうにありがとうございました。寒くなってきましたので 皆様方 お体を大切になさってください。」

おわりに、これまで名古屋岩の上传道所のディアコニアの働きは神さまによって必要が与え

られて参りました。しかし、これからも継続するためには経済的な困難があることは否定できません。必要が満たされますよう、お祈りに覚えていただけたら幸いです。

名古屋岩の上传道所ディアコニア支援室 岡本真理

メールアドレス mari.okmt.55@gmail.com

自宅TEL 052-917-1066



<今月の御言葉>

愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。怠らず励み、霊に燃えて、主に仕えなさい。希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。聖なる者たちの貧しさを自分のものとして彼らを助け、旅人をもてなすよう努めなさい。あなたがたを迫害する者のために祝福を祈りなさい。祝福を祈るのであって、呪ってはなりません。喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙 12 章 9~15 節)

パウロはローマ教会の信徒たちに対して、兄弟愛をもって互いに愛し合うこと、尊敬し合うこと、霊に燃えて主に仕えること、希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈ること、聖なる者たちを助け、旅人をもてなすことなどを勧めながら、いつの間にか教会の枠を超えて、「あなたがたを迫害する者のために祝福を祈りなさい。」と命じています。キリストに結ばれて一つの体を形づくっているキリストの体なる教会は、互いの賜物を用いて互いに仕え合うことが求められています。それは狭く教会の内側だけにとどまることなく、広く教会の外側に向かって開かれ展開してゆくことが求められているのです。私たちは教会の中の兄弟姉妹たちのことを思いやることはもちろんのこと、外側に向かって広く開かれ、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く」ことが出来る者たちで有りたいと願います。